

IE 4.0 裏ワザが40連発!

10月1日に発表されたIE4.0正式版は、あまりに多機能だった。初めて見る新機能と、カスタマイズの多岐にわたる選択肢とで「操作が難しくなった」という人もいる。もちろん、セットアップが終われば、なにもなくても快適に使える。でも、それだけじゃつまらない。IE4.0の奥の奥まで知り尽くしたいというヘビーユーザーのために、40の裏ワザを用意した。「完全インストール」を選んで「シェル統合」をした環境を前提に、WWWブラウザから新しいウィンドウズのインターフェイスまでを網羅している。この記事を読み終えたころには、多くの機能と選択肢がなくてはならないものになっているはずだ。

編集部



裏ワザ 1

オートコンプリートでサイト一覧を表示せよ!

一度訪れたサイトのURLは、途中で入力すれば「オートコンプリート機能」によって自動的に補完される。ただし、最初に表示されるのは「http://home.impress.co.jp/」までで、これに「/magazine/inetmag/index.htm」のように続く場合、スラッシュごとに最初の数字を入力する必要がある。これでは面

倒だ。そこで、最初の補完でドメイン名が表示されたら「」と「」キーを押してみよう。これで、スラッシュ以降のURLが次々に表示されるはずだ。

これでも面倒だという人は、最初の補完が終わった際にURLを右クリックして、「完了」を選ぼう。なんと、そのドメイン内で訪れたことがあ

るサイトの一覧が表示される。ここから、一気に目的のページにジャンプできるぞ。



「アドレス」 「右クリック」 「完了」 「サイト一覧」

WWWブラウザ関連のワザ
ウィンドウズのシェル関連のワザ
コンポーネント関連のワザ

illustration: NANKIN



裏ワザ 2

「www.」と「.com」は自動入力せよ!

海外サイトのURLは「http://www.」で始まって「.com」で終わるものが多い。このようなパターンのURLを入力する場合は、オートコンプリートより手取り早い方法がある。マイクロソフト社のサイ

トなら「microsoft」だけを入力して「Ctrl」キーを押しながら「Enter」キーを押す。これで、自動的に「http://microsoft.com」というURLに変換されるのだ。



「アドレス」 「Ctrl」 「Enter」

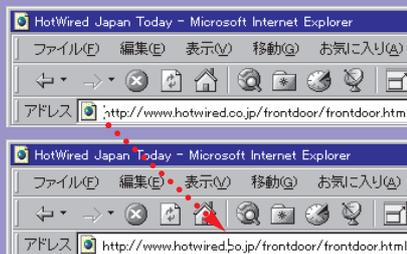


裏ワザ 3

URLの修正をすばやく行え!

「HotWired」のように、「.com」なら海外サイト、「.co.jp」なら国内サイトがそれぞれ見られる場合がある。このような場合、URLの一部だけを修正して目的のサイトにアクセスすることが多いはずだ。でも、マウスや矢印キーで変更したい部分

を選んで書き換えるのはとても面倒。こんなときは「Ctrl」キーを押しながら、「」キーか「」キーを押してみよう。「.」や「/」の部分にカーソルが移動してくれる。「www」を「home」に変更するなどの場面でも活躍してくれる便利な機能だ。



「アドレス」 「Ctrl」 + 「」

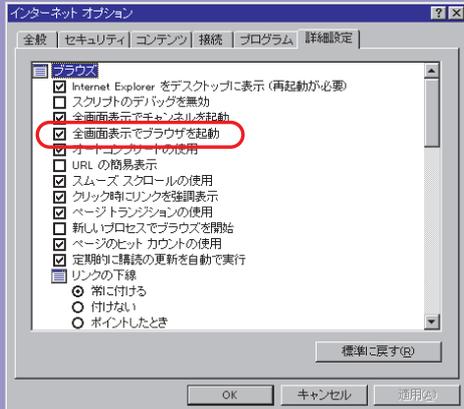
裏ワザ

4

常にフルスクリーンで表示させろ!

IE 4.0のフルスクリーン表示は、魅力的な機能の1つだ。ノートパソコンなどの狭い画面でホームページを閲覧する場合にフルスクリーンモードにしている人は多いはずだ。でも、毎回「全画面表示」ボタンを押すのは面倒だという人には、この

ワザがおすすめ。「表示」メニューの「インターネットオプション」から「詳細設定」を選び、「ブラウザ」欄の「全画面表示でブラウザを起動」にチェックを付けよう。これで、常にフルスクリーンモードでIE 4.0を起動できるようになる。



「表示」「インターネットオプション」「詳細設定」



裏ワザ

5

完全フルスクリーンモードにせよ!

フルスクリーン表示にしても、ウィンドウズのタスクバーとIE 4.0のツールバーは表示されたままになっている。これらをすべて消してしまえば、完全な全画面表示が可能になる。

まず、ウィンドウズのタスクバーを右クリックして「プロパティ」を選ぶ。「タスクバーオプション」の「自動的

に隠す」にチェックを付けよう。次に、IE 4.0をフルスクリーン表示にして、ツールバーを右クリック。ここでも「自動的に隠す」にチェックを付ける。これで、画面からすべてのツールバーが消えるはずだ。消えたツールバーの位置にマウスポインターを持っていけば、再び表示される。



「標準ツールバー」「右クリック」「自動的に隠す」

裏ワザ

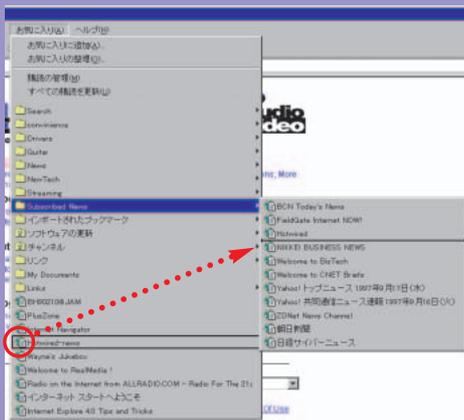
6

お気に入りに一発登録せよ!

ページをお気に入りに追加する方法はいくつかある。「お気に入り」メニューから「お気に入りに追加」を選んでもいいし、ページを右クリックして「お気に入りに追加」を選んでもいい。ただし、どちらもダイヤロ

グボックスが表示されて「OK」を押す必要がある。もっと簡単に一発登録する方法をお教えしよう。お気に入りに入れたいページが表示されたら「Ctrl」キーを押しながら「D」キーを押す。特になにも起こらないが、

お気に入りのルートにページが登録されているはずだ。これを好みのフォルダーに移動したければ、マウスでドラッグアンドドロップする。これがもっとも手取り早い。



「Ctrl」+「D」

裏ワザ

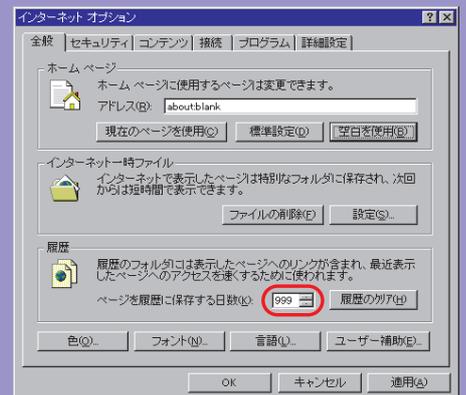
7

履歴リストを拡張せよ!

エクスプローラーの「履歴」を拡張せよ! エクスプローラーの「履歴」を選ぶと、訪れたことのあるサイトの一覧が表示される。この際に、過去3週間分の履歴が「~の週」という形でまとめられているはずだ。なぜ、3週間分かというと、初期設定では

履歴の保存日数が「20日」になっているからだ。「せっかくの便利な機能だから、もっと多くのURLを保存しておきたい。」そう思うならこの技をためてほしい。「表示」メニューから「インターネットオプション」を選び「全般」タブの「履歴」にある「ページを履歴に保存する日数」の値を増やしてみよう。なんと最大999日まで増やせるのだ。

履歴の保存日数が「20日」になっているからだ。「せっかくの便利な機能だから、もっと多くのURLを保存しておきたい。」そう思うならこの技をためてほしい。「表示」メニューから「インターネットオプション」を選び「全般」タブの「履歴」にある「ページを履歴に保存する日数」の値を増やしてみよう。なんと最大999日まで増やせるのだ。



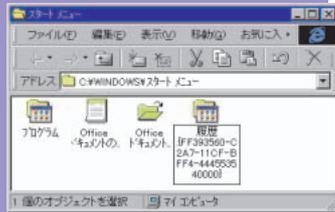
「表示」「インターネットオプション」「全般」

裏ワザ 8

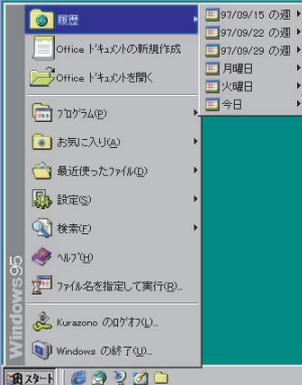
スタートメニューから履歴フォルダーにアクセスせよ!

スタートメニューに「お気に入り」が加わって、ここから直接お気に入りのページにアクセスできるようになった。それなら、履歴はどうだろう。通常の設定では、WWWブラウザを起動してからエクスプローラーの「履歴」を押す必要がある。やはり、履歴にあるページにもスタートメニューからアクセスしたい。

「スタート」ボタンの上で右クリックして「開く」を選ぶ。スタートメニューのフォルダーが開いたら、「ファイル」メニューから「新規作成」「フォルダ」を選ぶ。「新しいフォルダ」という名前のフォルダができるので、これを右クリックして「名前の変更」を選ぶ。フォルダ名を「履歴.{FF393560-C2A7-11CF-BFF4-444553540000}」に変えよう。これで、スタートメニューに履歴フォルダーが加えられる。



「履歴.{FF393560-C2A7-11CF-BFF4-444553540000}」



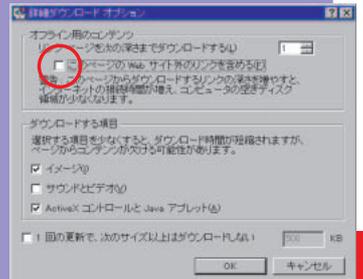
裏ワザ 9

購読の設定は外へのリンクを外せ!

お気に入りのページを購読する際に、ページをダウンロードしておけば、オフラインでブラウズできる。この際の設定はウィザードに従って行われるが、ここで「このページとリンクページをダウンロードする」を選ぶなら、ちょっとした注意が必要だ。初期設定ではページ内にほかのサイトへのリンクがあった場合、リンク先のページもダウンロードするようになっている。これでは、ダウンロードに時間もかかるし、無駄なページを保存しておくことになる。

購読ウィザードが終了したら「お気に入り」メニューから「購読の管理」を選び、登録したページのアイコンを右クリックしよう。ここから「プロパティ」を選び、「受信」タブ

の「詳細」を押す。「オフライン用のコンテンツ」欄にある「このページのWebサイト外のリンクを含める」のチェックを外そう。これだけで、ページによっては驚くほど更新時間が短縮できるぞ。



「お気に入り」「購読の管理」「右クリック」「プロパティ」「受信」「詳細」

裏ワザ 10

快適なオフライン購読をマスターせよ!(初級編)

「お気に入り」メニューから「お気に入りに追加」を選び、「オフライン読み取り用にダウンロードする」を指定した、いわゆる「購読」ページは、いつでもオフラインで読める。このためには、「ファイル」メニューから「オフライン作業」選べばいいのだが、インターネットに接続していない状態でWWWブラウザを起動するとダイアルアップネットワー

クが起動したり、スタートページを読みに行ったりする。これを防ぐには、「表示」メニューの「インターネットオプション」を選び、「全般」タブの「ホームページ」で「空白を使用」を選んでおく。これで、インターネットに接続していない状態でWWWブラウザを起動しても、空白のページが表示されるためエラー

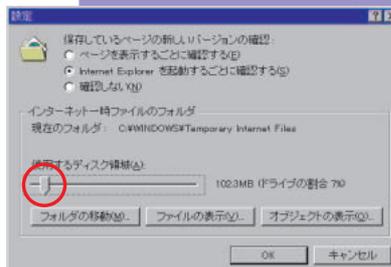


裏ワザ 11

購読が増えたら容量を増やせ!

購読したいページが増えてくると、当然ダウンロードするファイルの量も多くなる。これらのファイルは「Windows」フォルダーの中の「Temporary Internet Files」フォルダーに保存されるが、初期設定では、ハードディスクの2パーセント

の容量しか使えないようになっている。このままで、購読するページを増やしつつ行くと、ページをダウンロードする際に「容量が足りません」というエラーが出てしまう。こんなメッセージが出た場合は、「表示」メニューの「インターネットオプション」を選び、「全般」タブの「インターネット一時ファイル」欄にある「設定」を押す。ここで、「使用するディスク領域」というバーを右にスライドさせて容量を増やそう。ページの種類にもよるが、10サイト以上を購読するなら100メガバイト程度の容量はほしい。



「表示」「インターネットオプション」「全般」

裏ワザ 16

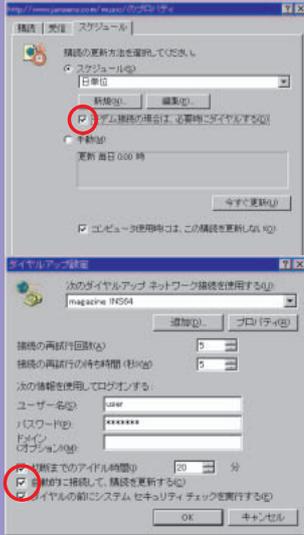
ダイヤルアップ自動接続の設定をせよ!

購読したサイトのデータを寝ている間にダウンロードすることができる。「お気に入り」メニューから「購読の管理」を選び、登録されているページのアイコンを右クリックする。「プロパティ」から「スケジュール」タブを選び、「編集」ボタンを押す。ここでダウンロードする時間を指定する。

ただし、忘れてはならないポイントが1つある。ダイヤルアップ接続の場合は必ず「モデム接続の場合は、必要時にダイヤルする」にチェックを付けておこう(上図)。

ただし、購読するページが多数ある場合は、1つずつこの作業するのは面倒だ。「表示」メニューから「インターネットオプション」を選び、「接続」タブの「モデムを使用してインターネットに接続」の右にある「設定」を押す。ここで、プロバイダーに接続する際のユーザー名やパスワードを入れ、「自動的に接続して、購読を更新する」にチェックを付ける(下図)。これだけでダイヤルアップの自動接続ができるよ

うになる。なお、この設定をしてあげば、電子メールを受信するなど、インターネットにある情報を取得しようとした際にも自動的に接続されるようになる。もう、ダイヤルアップネットワークの「接続」ボタンは押さなくていいのだ。



「お気に入り」「購読の管理」「右クリック」「プロパティ」「スケジュール」

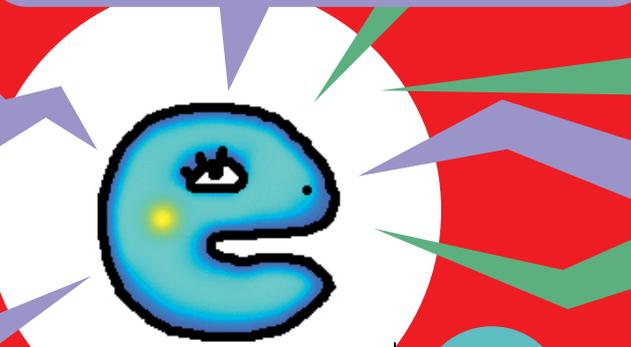
裏ワザ 17

リンクバーの名前とアイコンを変える!

「リンクバー」には、あらかじめいくつかのアイコンが登録されている。これらは、アイコンを右クリックして「削除」を選べば簡単に消せるし、ページ内のリンクや「アドレス」欄のアイコンをドラッグアンドドロップすれば、簡単に登録できる。

それでは、アイコンの名前を変えたり、アイコンのデザインを変えたりするにはどうすればいいか。「Windows」フォルダーの中の

「Favorite」フォルダーを開き、「リンク」フォルダーを開く。この中のアイコンがリンクバーに表示される。名前を変えるには右クリックして「名前の変更」を選ぶ。アイコンを変えるには、右クリックして「プロパティ」を選び、「アイコンの変更」を押す。「参照」を押し、「Windows」フォルダー内にある「System」フォルダー内にある「Shell32.dll」や「Webcheck.dll」などを選んでみよう。



裏ワザ 18

標準ツールバーのアイコンを最小化せよ!

「標準ツールバー」は、初期設定ではボタンに説明が付いている。ツールバーを右クリックして「ボタンの文字列」のチェックを外すと、説明が消えてバーのサイズも小さくなる。ノートパソコンなどではこの設定にしている人が多いのでは。実は、これが最小サイズではないのだ。ボタンはもっと小さくなる。

「表示」メニューから「インターネットオプション」を選ぶ。「詳細設定」タブから「ツールバー」の項目の「小さいアイコン」にチェックを付ける。これで、立体的だったボタンが平面的になり、ツールバーのサイズももさらに小さくなる。この差は本当にわずかだが、画面を有効に使うには意外と効果がある。



「表示」「インターネットオプション」「詳細設定」

裏ワザ 19

クイック起動をカスタマイズせよ!(初級編)

ウィンドウズのタスクバーによく使うソフトウェアのアイコンを登録できる。これが「クイック起動」だ。「大」を選ぶ。右クリック「テキスト登録の仕方」は簡単で、任意のアイコンをクイック起動バーにドラッグアンドドロップするだけ。アイコンの大きさを変えるには、バーのアイコン以外の空白(通常のタスクバー

を右にスライドさせると空白ができる)で右クリックして「表示」「大」を選ぶ。右クリック「テキスト登録」でアイコン名が表示される。右クリック「タイトルの表示」で「Quick Launch」というバーの名前が表示される。

裏ワザ 20

マイコンピュータでもオートコンプリートを使い!

URLのオートコンプリート機能は誰でも知っているはずだ。実はURLだけでなく、マイコンピュータの「アドレス」欄にファイル名やフォルダー名を入力する際にもこの機能が働くのだ。ために、「Windows」フォルダーを開いて、アドレス欄に

「C:¥Windows¥exp」と入れてみよう。自動的に「C:¥WINDOWS¥explorer.exe」と補完されるはずだ。さらに「」か「」キーを押すと「C:¥WINDOWS¥explorer.scf」が表示されるはずだ。

裏ワザ 21

自分好みの行間でページを表示させろ!

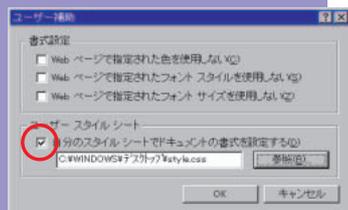
ウェブページを見ていて、行間の狭さにうんざりすることがある。なんと、IE4.0には、自分で作成したスタイルシート設定をすべてのサイトに適用するという驚くべき機能が隠されていた。これを利用して、すべてのページを自分が見やすい行間に変えてみよう。

まず、メモ帳を起動して以下のタグを記入する。

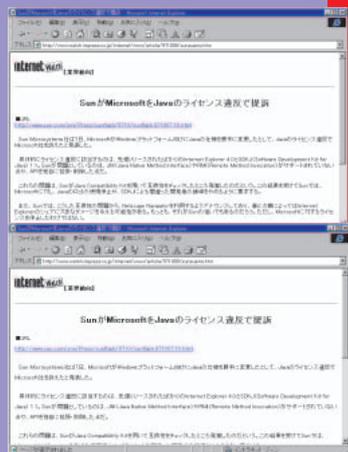
```
<STYLE TYPE="text/css">
body { line-height:14pt };
table { line-height:14pt };
</STYLE>
```

これを適当な名前を付けて保存する。拡張子は「CSS」にすること。「style.css」などがいいだろう。次に、「表示」メニューの「インターネットオプション」を選び、「全般」タブの「ユーザー補助」を押す。「ユーザースタイルシート」欄で「自分のスタイルシートでドキュメントの書式を設定する」にチェックを付けて「参照」を押す。ここで、先ほど作成した「Style.css」ファイルを選ぶ(上図)。WWWブラウザを再起動すると、これまでびっしり詰まっていた行間が14ポイント分

空いているはずだ(下図)。スタイルシートを使いこなせるなら、いろいろな書式設定ができるはずだ。



「表示」 「インターネットオプション」 「全般」



裏ワザ 24

ファイルやフォルダーをお気に入りに登録せよ!

お気に入りはURL だけを入れる場所ではない。マイコンピュータの「お気に入り」メニューから「お気に入りに追加」を選ぶと、その時に開いているフォルダーが追加される。任意のファイルをお気に入りに登録するには、フォルダー内のファイルをクリックしたまま「お気に入りに」メニューにカーソルを移動する。お気に入りにの一覧が表示されたら、好きなフォルダーの上にファイルをド

ロップする。これでOKだ。「表示」メニューの「エクスプローラー」から「お気に入りに」を選び、左にお気に入りのエクスプローラーを表示させてここにファイルをドラッグアンドドロップする方法もある。WWWブラウザでウェブページを見ている状態からお気に入りにあるフォルダーを選べば、ページを表示していたウィンドウにフォルダーの中身が即座に表示される。

裏ワザ 22

クイック起動をカスタマイズせよ! (中級編)

クイック起動バーにアイコンをドラッグアンドドロップできるのは便利だが、小さなスペースに入れるのはなかなか難しい。そこで、バーを右クリックして「開く」を選んでみよう。「Quick Launch」というフォルダーが開く。これがクイック起動バーの中身だ。つまり、ここにアプリケーションのショートカットやドキュメント、さらにはフォルダーなどを入れればいいのだ。ファイル名を変えればアイコンの名前も変わ

る。スペースも広いからドラッグアンドドロップしやすい。いつも使うアイコンはこの中にどんどん入れてしまおう。



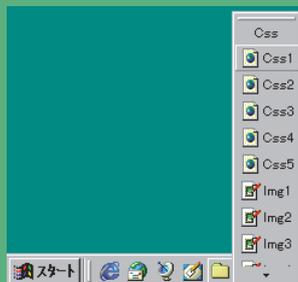
「クイック起動バー」 「右クリック」 「開く」

裏ワザ 23

クイック起動をカスタマイズせよ! (上級編)

「裏ワザ22」の要領で「Quick Launch」フォルダーを開き、新しいフォルダーを作ろう。クイック起動にフォルダーのアイコンができる。デスクトップなどに保存してあるファイルをクイック起動のフォルダーアイコンに右クリックで引っ張ってくる。離すときに「ここに移動」を選ぶ。これで、クイック起動のフォルダーの中へ移動した。再びファイルを編集する際は、クイック起動のフォルダーアイコンを「Ctrl」キーを押しながらクリックする。ポップアップメニューにフォルダー内のフ

イルが表示されるので、好きなものを選ぶ。デスクトップが散らかりがちな人におすすめの裏ワザだ。



「クイック起動バー」 「Ctrl」+「左クリック」



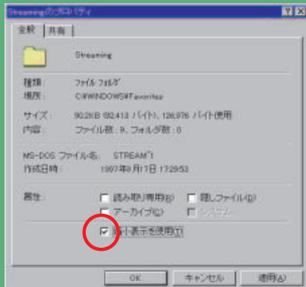
裏ワザ 25

画像やHTMLファイルを縮小表示せよ!

フォルダー内に画像ファイルやHTMLファイル、さらにはインターネットショートカットファイルがあれば、その内容を縮小表示してくれる。表示の仕方には2通りあるので用途に応じて使い分けよう。

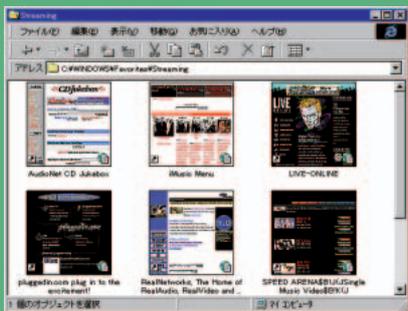
1つは、アイコンを選択すると左下に縮小表示される初期設定の表示方法。もう1つは、フォルダーの空白部分を右クリックして「プロパティ」を選び、「全般」タブの「縮小表示を使用」にチェックを付けた際の表示方法だ(上図)。この場合は、それぞれのアイコンが四角の枠で囲まれ、一度にすべてのファイル

してページのデータを取得しようとする。オフラインではインターネットショートカットの縮小表示はやめておいたほうがよいだろう。



(Windowsアイコン)「マイコンピュータ」「右クリック」「プロパティ」「全般」

の縮小版が見られる(下図)。ただし、「お気に入り」のフォルダーなどにあるインターネットショートカットを縮小表示させる場合には注意が必要だ。キャッシュされているページなら問題ないが、そうでないものはインターネットに接続

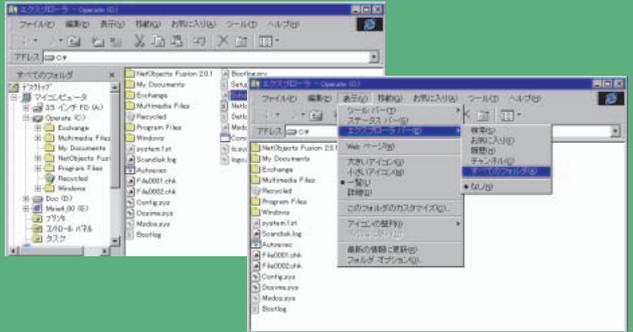


裏ワザ 26

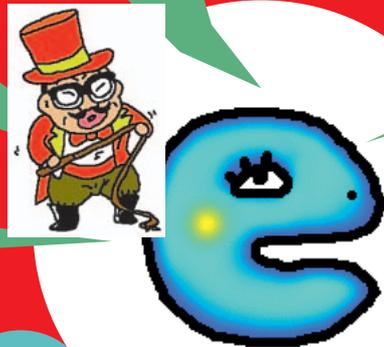
ウィンドウズエクスプローラ表示とマイコンピュータ表示を切り替える!

ウィンドウズエクスプローラを開くと左にフォルダーの一覧が、右に選択したフォルダーの中身が、それぞれ表示される。左枠の右上にある「x」をクリックすると枠が消えて

の「エクスプローラバー」から「すべてのフォルダ」を選ぶと、再び左の枠が表示される。これをうまく使えば、1つのウィンドウ内でウィンドウズエクスプローラからマイコンピュータ、あるいはその逆と、表示形式を切り替えられる。



「ウィンドウズエクスプローラ」「表示」「すべてのフォルダ」

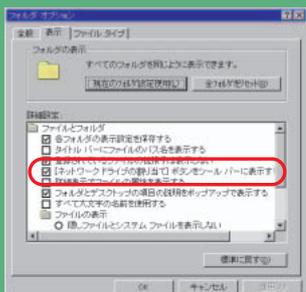


裏ワザ 27

ネットワークドライブの割り当てボタンを表示させる!

シェル統合すると「ネットワークドライブの割り当て」と「切断」ボタンがなくなっていることに気付くはずだ。LAN環境でWindowsを使っている人にとってこれは一大事。でも安心してほしい。マイコンピュータの「表示」メニューから「フォルダオプション」を選び、「表示」タブの「ファイルとフォルダ」欄にある「[ネットワークドライブの割り当て]ボタンをツールバーに表示する」にチェックを付けよう。これでツール

バーにボタンが表示されるはずだ。



「マイコンピュータ」「表示」「フォルダオプション」「表示」

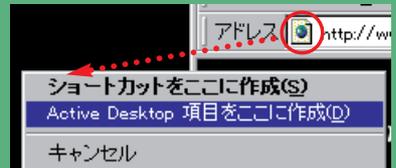
裏ワザ 28

デスクトップコンポーネントを瞬時に埋め込み!

ウェブページをデスクトップコンポーネントとして表示させる場合、デスクトップを右クリックして「アクティブデスクトップ」から「デスクトップのカスタマイズ」を選ぶ。「Web」タブで「新規作成」を押して「いいえ」を押し、「場所」の欄にURLを入力する。ここでは、

端にあるアイコンを右クリックでつかんでデスクトップ上に離す。この際に「Active Desktop項目をここに作成」を選ぶ。「はい」を押す。「OK」を押す。ページのダウンロードが始まってコンポーネントとして登録される。これで完了だ。

WWWブラウザを起動して、デスクトップに表示させたいページにアクセスする。「アドレス」欄の左

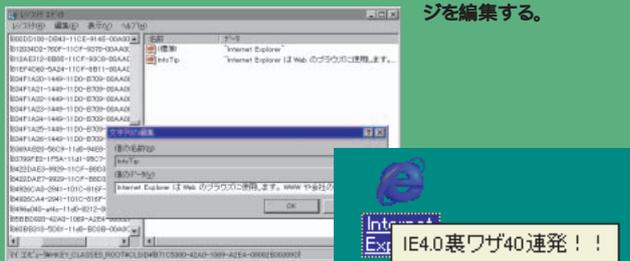


裏ワザ 29

ポップアップメッセージをカスタマイズせよ!

Active デスクトップを使用している場合、マイコンピュータやネットワークコンピュータを選択するとポップアップによる解説が表示される。実は、この解説は削除したり自分の好きなメッセージに変更したりできるのだ。ただし、レジストリエディタを使用してレジストリを書き換えるという荒技を使う。ちょっとでも間違えると、ウィンドウズが起動しなくなるような致命的なエラーが発生する。ウィンドウズを再インストールできるというユーザー以外は、絶対にチャレンジしないでください。スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選び、「regedit」と入力する。レジストリエディタが起動したら「Ctrl」キーを押しながら「F」キーを押す。「検

索する値」の欄に「InfoTip」と入力して「次を検索」を押す。「InfoTip」というアイコンが見つかる。右欄にポップアップで表示されるメッセージが書かれている。どのアイコンを選択したときに表示されるのかは、メッセージの上の欄を見れば分かる。「マイコンピュータ」などの名前が書かれているはずだ。メッセージを表示したくないなら「InfoTip」アイコンを右クリックして「削除」を選ぶ。メッセージの内容を変更したいなら、「InfoTip」アイコンをダブルクリックして「値のデータ」に好きなメッセージを入れよう。255文字まで使える。1つのメッセージの編集が終わったら、「F3」キーを押す。別の「InfoTip」が検索されるので、上記と同様にメッセージを編集する。



「スタート」「ファイル名を指定して実行」「regedit」「Ctl」+「F」「InfoTip」

裏ワザ 31

GIFやJPEGを壁紙にせよ!

これまで、ウィンドウズの壁紙にはBMP形式の画像しか使えなかったが、Active デスクトップが「Web ページで表示」になっている場合は「GIF」形式や「JPEG」形式の画像も壁紙に指定できる。デスクトップ上で右クリックして

「プロパティ」を選ぶ。「背景」タブの「参照」を押して、保存してあるGIFファイルかJPEGファイルを選ぶ。「Web ページで表示」になっていない場合は、設定を変更するかどうかを聞いてくるので「はい」を押す。これでOKだ。

裏ワザ 32

スタートメニューにすばやく登録せよ!

IE 4.0では、お気に入りやスタートメニューの項目の並び順やサブフォルダーの位置をドラッグアンドドロップで変えられる。これを利用してスタートメニューの簡単アイコンの登録法を紹介しよう。まず、スタートメニューに登録し

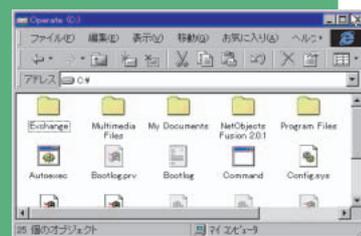
たいアイコンを「スタート」ボタンにドラッグアンドドロップする。「スタート」ボタンを押すと、リストの一番上に登録されているので、さらにドラッグアンドドロップで好きな場所に移動する。これで完了だ。

裏ワザ 33

変更をすべてのフォルダーに反映させる!

マイコンピュータの「表示」メニューの「フォルダオプション」にある「全般」タブから「カスタム」を選ぶ。ここで「設定」を押せば、「シングルクリックとダブルクリックを切り替える」「アクティブデスクトップを使うかどうか」などの細かい設定ができる。ただし、カスタムにすると、フォルダーごとに個別の設定が保存されるため、表示を「大きいアイコン」から「小さいアイコン」などに変更しても、別のフォルダーを開くとそのフォルダー固有の表示になってしまう。そこで、1つのフォルダーの設定を変更す

べてのフォルダーに反映させる方法を紹介しよう。設定を変更したフォルダーを「Ctrl」キーを押しながら閉じる。これで、すべてのフォルダーに変更が反映される。



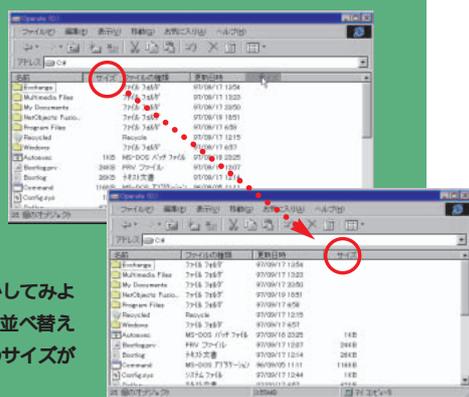
「閉じる」+「Ctrl」

裏ワザ 30

マイコンピュータの詳細表示をカスタマイズせよ!

フォルダー内の表示形式は従来どおり「大きいアイコン」「小さいアイコン」「一覧」「詳細」の4種類だが、「詳細」はこれまでより数倍使いやすくなっている。フォルダーの空白部分を右クリックして「表示」から「詳細」を選んで、「名前」「ファイルの種類」などの項目をドラッグアンドドロップして動かしてみよう。好みに合わせて項目を並べ替えられるのだ。ウィンドウのサイズが

小さい場合には、見たい項目を右に持ってくればよい。



裏ワザ 34

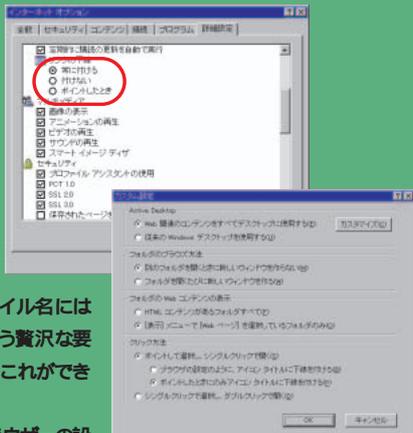
アイコンの下線を消せ!

シェル統合をすると、ファイルやアプリケーションの起動がウェブページのリンクと同様のシングルクリックでできるようになる。でも、ファイル名にもリンクと同じ下線が引かれるのは少々じゃまな気がする。

ウェブページのリンクの下線がなくていいなら、WWW ブラウザーの「表示」メニューから「インターネッ トオプション」を選び、「詳細設定」タブの「リンクの下線」にある「付けない」または、「ポイントしたとき」を選ばいい(上図)。これで、ファイル名の下線も消える。でも、ウェブページのリンクには下線を付けて、ファイル名には下線を付けたくないという贅沢な要望もあるはずだ。実は、これができるのだ。

この場合はWWW ブラウザーの設定で上記の「リンクの下線」を「常に付ける」にする。次に、マイコン

ピュータを開き、「表示」メニューから「フォルダオプション」を選び、「カスタム」にチェックを付けて「設定」を押す。「クリック方法」の欄で、「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選び、「ポイントしたときのみ、アイコンタイトルに下線を付ける」にチェックを付ける(下図)。これでOKだ。



「マイコンピュータ」、「表示」、「フォルダオプション」、「カスタム」、「設定」

裏ワザ 35

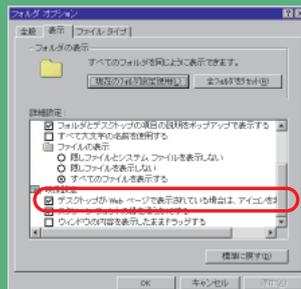
Active デスクトップからアイコンを消せ!

Active デスクトップにいくつものコンポーネントを表示させていると、すぐに空き領域がなくなってしまう。特に、デスクトップに何列ものアイコンを表示させている人は、コンポーネントがアイコンの下に隠れてしまい、非常に見にくくなってしまふ。こんな場合は、デスクトップ上からすべてのアイコンを消してしまおう。

「マイコンピュータ」を開いて「表示」メニューから「フォルダオプション」を選ぶ。「表示」タブの「映像設定」欄にある「デスクトップがWeb ページで表示されている場合は、アイコンを非表示にする」にチェックを付けよう(図A)。これで、デスクトップからすべてのアイコンが消える(図B)。

でも、アイコンをクリックしたいときはどうしたらいいのだろうか。デスクトップを右クリックして「アクティブデスクトップ」から「Web ページで表示」のチェックをはずそう。これで、壁紙を含めたすべてのコンポーネントが消え、通常のウィンドウに戻るはずだ。もちろん、デスクトップ上のアイコン

も表示される。ドキュメントの作成など、CPUを多く使う場合は通常のウィンドウズデスクトップにし、アクティブデスクトップのコンポーネントを見たいときはアイコンのまったくない「Web ページで表示」というふうに、2つのデスクトップを切り替えながら使うというのはどうだろう。



(ウィンドウズアイコン)「マイコンピュータ」「表示」「フォルダオプション」「表示」



これが、アイコンをすべて消したActive デスクトップだ。

裏ワザ 36

「..」で1階層上のフォルダーに移動せよ!

マイコンピュータを開いて、アドレスバーに「..」のように、ピリオドを2つ入れて「Enter」キーを押してみよう。1つ上の階層のフォルダーに移動するはずだ。それでは、WWW ブラウザーでページ表示した

際に「..」を入れて「Enter」キーを押すとどうなるだろう。「スタートページ」に移動する。ここでさらに「..」を入れるとデスクトップのアイコンが表示される。

裏ワザ 37

取得済みのメールを振り分けろ!

アウトルックエクスプレスの振り分け機能に注目したい。「受信トレイアシスタント」を使って取得済みのメールの振り分けもできるようになった。

「ツール」メニューから「受信トレイアシスタント」を選ぶ。「追加」ボタンを押し、振り分けの条件を指定する。「OK」を押すと、「説明」

の欄に新たな条件が追加される。これを選択して右の「適用」ボタンを押す。どのフォルダーのメールを振り分けかを聞いてくるので、任意のものを選んで「OK」を押す。これで取得済みのメールが指定したフォルダーに振り分けられる。



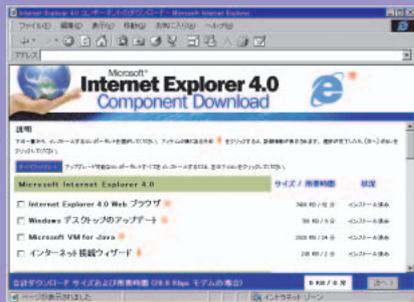


追加コンポーネントをセットアップせよ!

セットアップの際に「完全インストール」と「シェル統合する」を選んで、まだ追加するコンポーネントはある。とにかく、全部入れないと気が済まないという人は、本誌CD-ROMから「追加コンポーネントのセットアップ」を行おう。

ナビゲーターCD-ROM【A】の「Win」フォルダーから「Msie40」を開き、この中の「Setup」を起動する。「Microsoft Internet Explorer 4.0」の画面が表示されたら「IE4.0追加コンポーネントのインストール」を押す(上図)。WWWブラウザが起動して「よろしいですか?」のメッセージが出るので「はい」を押す。右の「状況」の欄を見てほしい。まだセットアップされていないコンポーネントに「未インストール」が、新しいバージョンにアップデートで

きるものには「アップデート可能」の表示がそれぞれ付く(下図)。セットアップしたいものにチェックを付けて、右下の「次へ」を押す。次のページで「今インストールする」を押す。「ウィンドウズを再起動」のメッセージが出れば完了だ。



禁断の「PowerToys for IE4.0」をセットアップせよ?

さて、裏ワザ40連発の最後を飾る「禁断」の荒ワザは、マイクロソフト社製のアドインツール「Power Toys for IE4.0」だ。多機能なIE4.0にさらに便利な機能を追加できる。ただし、このソフトウェアに関しては、マイクロソフト社でもいささかのサポートを行っていない。どんな不具合が生じても、責任は負えないとのことだ。とにかく、魅力的だが非常にリスクな代物だということを理解してほしい。当然、ウィンドウズが二度と起動し

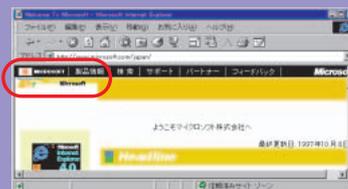
ないといったトラブルまで覚悟の上でのセットアップとなる。この裏ワザに関しては、編集部でも一切の責任は負えないことをご了承ください。

それでも、やっぱり入れてみたいという人は、下記のサイトからPowerToys for IE4.0をダウンロードしてセットアップしてみよう。新たに加わる機能は以下のとおりだ。

『PowerToys for IE4.0』の入手先
URL:<http://www.microsoft.com/ie/ie40/powertoys/>

【Zoom In / Zoom Out】

ページ内にある画像を拡大表示したり、縮小表示したりできる。画像を右クリックして「Zoom In」か「Zoom Out」を選ぶ。ページの半分が大きな画像で埋まっている場合など、Zoom Outすればページをスクロールする必要もなくなる。



【Quick Search】

アドレスバーにあらかじめ決められたショートカット文字(AltaVistaならav)と検索したいキーワードを入力すると、該当する検索サイトにジャンプして検索結果が表示される。PowerToysをセットアップすると、「Windows」フォルダー内の「Favorites」フォルダーの中に「Links」というフォルダーが作成される。この中の「Quick Search」アイコンを、同じ「Favorite」フォルダー内の「リンク」に移動する。するとリンクバーにQuick Searchアイコンが表示される。これを押して「Save」ボタンを押すと、この機能が働くようになる。

【Image Toggler】

ページに画像を表示するかしないかをボタンによって切り替えられる。「Quick Search」と同様に、「Links」フォルダー内の「Toggle Images」アイコンを「リンク」アイコンに移動する。リンクバーにボタンが表示されるので、これを押すとウェブページ内の画像が非表示になる。もう一度押すと表示される。



【Text Highlighter】

ページ内の任意の文字を右クリックで選択して「Highlight」を選ぶと、黄色のマーカーが塗られる。

「ブッシュ」や「チャンネル」と呼ばれるインターネット情報提供者と受信者との情報の流れを、ソニー「第二世代のチャンネルシステム」の多くの

【Open Frame in New Window】

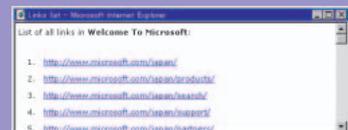
フレームで区切られたページの任意のフレーム上で右クリックして「Open Frame in New Window」を選ぶと、そのページが別のウィンドウに表示される。

【Web Search】

ページ内の任意の文字を右クリックで選択して「Web Search」を選ぶと、Yahoo!のサイトにジャンプして選択した文字を検索してくれる。

【Links List】

ページを右クリックして「Link List」を選ぶと、ページ内のリンクが一覧表示される。



フロントページエクスプレスでページの表示時間を計れ!

フロントページエクスプレスのちょっと変わった使い方を紹介しよう。インターネットに接続した状態でフロントページエクスプレスを起動する。「ファイル」メニューから「開く」を選び、「保存場所から」にチェックを付け、下の欄に自分のホームページのURLを入力する。「OK」

を押すとフロントページエクスプレスに自分のページが読み込まれるが、この時にステータスバーの右に現在の通信速度で自分のページが表示されるのにかかるおおよその時間が表示される。これで、作成したページの読み込み時間が分かるのだ。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp